ウスバサイシン（ウマノスズクサ 科）　　**兵庫県：Bランク**

Asiasarum sieboldii (Miq.) F.Maek.　　**環境省：－**

種の概要

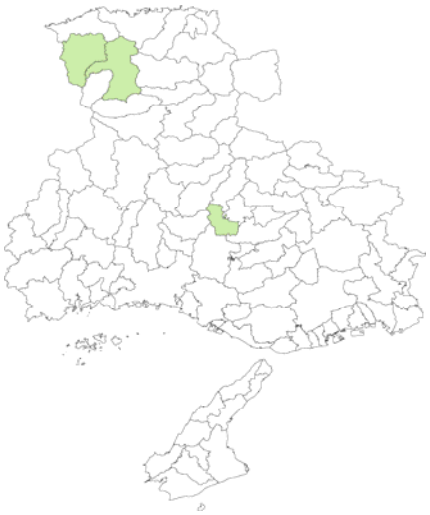
山地の林下の湿った所にはえる多年草。茎の先に2個の葉が偽対生につき、柄は汚紫色で長い。葉は薄く、卵心形で長さ5-8cmになり、先は急にとがり、基部は深い心形、表面は光沢がなく、はじめは短毛があるが、のちになくなる。花は3-4月、茎の先の2葉柄の間に1個つく。花は径1-1.5cm、淡汚紅紫色で毛がない。萼筒は扁球形で、内面に不明瞭な縦溝がある。萼裂片は3角状広卵形で先がとがり、縁は外に反り返り、つまんだようになる。雄蕊は12個、花糸は葯より長い。花柱は6個で短く、先は切形で縦溝があり、外側に柱頭がある。

国内分布

本州、九州（北部）

県内分布

温泉町、村岡町、八千代町



選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
						○

特記事項

特になし

保護上の留意点

生育地の保全